										児手	番					
児童手当 受給事由消滅届											受付確認年日	1				
		相模原	市巨	ねて		提出年	₹月日		年	月	日	月日				
ı		フリガナ	ען ון	<i>a</i>) C								Н				
※ 字	受	氏名	4									生年 月日	田和 平成	年	月	日
※字は楷	給													電話	番号	
温 かいし	者	住所	相	模原市	ī (緑	中央 南	中央 南)区							()	
しょでは				<u> </u>	児童手	当が消	威した理	!由につ	いて、」	以下のき	ち該	当する	項目	. ☑ ₹	をしてく	<u>ださい。</u>
いつきり書いて				□ 受給者が市外に転出したため □ 受給者が公務員になったため(勤務先:												
くださ				□ 受給者が死亡したため ※別途 「未支払児童手当請求書」 が必要な場合があります。 □ 受給者が国外に転出したため												
ſβ				口 受給者が児童と同居しなくなったため(単身赴任の場合を除く)												
記名押						f定者で₹										
∰											,					
代えて	消	肖滅した理由			• •-	、)児童に1	ついて、2	欠の事実	が生じ	たため						, l
て 署名することが				支給要件の児童について、次の事実が生じたため □ 死亡した □ 監護しなくなった												
ر اح اح				口 生計を同じくしなくなった												
ができ			□ 生計を維持しなくなった □ またる生計者でなくなった													
ままま			□ 主たる生計者でなくなった □ 日本国内に住所を有しなくなった ※留学を理由とするものを除く													
			□ 里親等へ委託された又は児童福祉施設等へ入所した													
					(措記	置決定通知	1書の写し	を添付し	てください	, \)						
						き生した日(消滅日) た手当をお返しいただく場合があります				4	令和		年	F]	B
]										Τ .			 	1 1	1	
	 ※消滅日および消滅した理由について								宛4	名番号		<u> </u>		<u> </u> 入力者	¦ ¦ 受付者	
	離婚などで児童の面倒をみなくなった場合は、													··• H		
	消滅日=実際に別居をして監護しなくなった日(離婚日とは限りません) 消滅理由=「児童を監護しなくなったため」を記入してください。															
	・児童と別居後も消滅日まで監護していた場合には、「別居監護申立書」の提出が必要です。・遡って消滅の場合には、既に支給している児童手当をお返ししていただく場合があります。															
	- 200 (月間の) 場合には、以下に入れている。 ※施設等とは、児童自立生活援助事業を行う者、小規模住居型児童養育事業を行う者、里親、母子生活支援施設、障害児入所施設、指定発達支援医療機関、乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、障害者支援施設、のぞみの園、救護施設、更生施設、日常生活支援住居施設、女性自立支援施設をいいます。															
											支	 給額	, 0	00×		

	 記入例											
		児		手当 受給事由消滅届	児手番号 受付確認 年 月							
		フリガナ		サガミハラ タロウ	生年 図記 ▲ 年 ▲ 日 ▲ 日							
※ 字 は	受給	氏名		相模原 太郎	月日 平成 — , — , , — ,							
は楷書 かい	者	住所	相	^{模原市} 中央 区中央▲丁目▲番▲▲号	電話番号							
* ※児童手当が消滅した理由について、以下のうち該当する項目に チェックをしてください。												
はっきり書いてください。記名押印に代えて、署名することができます	消	<u>が</u> した理由		□ 受給者が市外に転出したため □ 受給者が公務員になったため(勤務先 (辞令等、公務員になったことの分かる証明書の写しを添付してください) □ 受給者が死亡したため ※別途「未支払児童手当請求書」が必要な場合があります。 □ 受給者が見童と同居しなくなったため(単身赴任の場合を除く) □ 父母指定者でなくなったため □ 未成年後見人でなくなったため □ その他 () 支給要件の児童について、次の事実が生じたため □ 死亡した □ 監護しなくなった □ 生計を同じくしなくなった □ 生計を同じくしなくなった □ 生計を組持しなくなった □ 生計を維持しなくなった □ 日本国内に住所を有しなくなった(留学を理由とするものを除く) □ 里親等への委託又は児童福祉施設等への入所 (措置決定通知書の写しを添付してください)								
	;			事 由 の 発 生 し た 日(消滅日) ては多くお支払した手当をお返しいただく場合があります	▲ 年 ▲ 月 ▲ 日							
[×	当減日お	、上7	び消滅した理由についての名番号								

水消滅日および消滅した埋田について

・離婚などで児童の面倒をみなくなった場合は、 消滅日=実際に別居をして監護しなくなった日(離婚日とは限りません) 消滅理由=「児童を監護しなくなったため」を記入してください。

・児童と別居後も消滅日まで監護していた場合には、「別居監護申立書」の提出が必要です。

<u>・遡って消滅の場合には、既に支給している児童手当をお返ししていただく場合があります。</u>

※施設等とは、児童自立生活援助事業を行う者、小規模住居型児童養育事業を行う者、里親、母子生活支援施設、障害児入所施設、指定発達支援医療機関、乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、障害者支援施設、のぞみの園、救護施設、更生施設、日常生活支援住居施設、女性自立支援施設をいいます。

支給額 , 000×